

略 年 表

年 号	西 曆	記 事
明治 6 年	1873	中山久蔵が札幌郡月寒村島松（現 島松18番地-1）に水田10アールを開墾、ここで水稲（赤毛種）の栽培に成功。この年千歳郡島松村から同地に移る。
6 月		札幌～室蘭間の道路（札幌本道）が開通した。
10 年 4 月	1877	札幌農学校教頭W・Sクラークが月寒村島松（現 北広島市）で見送りにきた学生と別れ「Boys, be ambitious!」（青年よ大志をいだけ）の
13 年	1880	中山久蔵宅を島松駅通継替所とした。
14 年 9 月	1881	明治天皇が初めて北海道を巡幸。大曲と島松に立寄られ、島松では、中山久蔵宅を行在所として昼食をとられ小憩された。
16 年 4 ～	1883	和田郁次郎が団体移住地の調査にあたり、シュブンベツ（志文別）川南から島松川の野幌原野を選び移住の準備に着手した。
1 月		
17 年 5 月	1884	広島県人移住団体18戸が、5月23日、中の沢に入植、この年第2団が到着して25戸103人となる。
22 年 10 月	1889	江別～恵庭間の道路が開通した。
25 年 6 月	1892	月寒村月寒小学校厚別分教場を大曲に移転、大曲分教場が開設された。
10 月		中の沢（現 共栄438番地）に広島簡易教育所が設置された。
26 年 11 月	1893	「広島郵便局」が開局された。
27 年 2 月	1894	広島開墾および大曲、島松を月寒村から分離し「広島村」となる。
2 月		2月10日から広島村戸長役場を開設した。
2 月		月寒小学校大曲分教場が広島簡易教育所の分校となる。
7 月		中の沢に巡查駐在所が設置された。
28 年 4 月	1895	広島簡易教育所を改め、広島尋常小学校となる。
31 年 10 月	1898	輪厚に巡查駐在所が設置された。
32 年 6 月	1899	大曲簡易教育所分校を改め、大曲尋常小学校となる。
33 年 5 月	1900	野幌（現 西の里小学校）と音江別（南の里）に簡易教育所が設置された。
7 月		島松に簡易教育所が設置された。
7 月		輪厚に簡易教育所（現 西部小学校）が設置された。
11 月		広島村農会を創立した。
11 月		広島尋常小学校に高等科を併設し、広島尋常高等小学校に改称。
35 年 4 月	1902	2級町村制が施行された。
6 月		第1回広島村会議員選挙を執行。
7 月		第1回広島村会を開会。
8 月		高台に簡易教育所が設置された。
38 年 2 月	1905	輪厚簡易教育所を改め、輪厚尋常小学校となる。
41 年 4 月	1908	野幌と音江別の簡易教育所を広島尋常高等小学校の分教場とする。
4 月		開村25年記念式挙行、開村記念碑を広島神社境内に建立した。
9 月		高台簡易教育所を広島尋常小学校の分教場とした。
大正 2 年 4 月	1913	下仁井別分教場を下仁井別尋常小学校に改称。
4 年 9 月	1915	輪厚郵便局開局。
5 年	1916	明治天皇行在所を村が買い上げ、「島松行在所」記念地とする。
6 年 5 月	1917	全村統一の広島青年団を創立。
7 年 4 月	1918	高台分教場を高台尋常小学校に改称。
8 年 2 月	1919	中山久蔵逝去。（92歳）
9 年 4 月	1920	輪厚尋常小学校に高等科を併置し、輪厚尋常高等小学校に改称。
10 年 4 月	1921	1級町村制が施行された。
11 年 6 月	1922	有限責任広島信用購買組合（現 道央農協北広島支所）が設立された。
13 年 4 月	1924	村内の女子青年の集まりを統一し、広島処女会を設立。

年 号	西 曆	記 事
大正 15 年 8 月	1926	北海道鉄道株式会社の苗穂、東札幌、沼の端間（札幌線）の鉄道開業に伴い北 広島駅が開設された。
昭和 2 年 4 月	1927	広島処女会改め、広島女子青年団結成。
3 年 11 月	1928	和田郁次郎逝去。（81歳）
7 年 8 月	1932	広島村役場庁舎新築落成。
8 年 4 月	1933	村議会で村内の小学校の統合を議決。
5 月		開村50年記念式挙行。
9 月		上仁井別分教場改築落成。
11 月		島松行在所を史跡に編入。
9 年 1 月	1934	有限責任広島信用購買組合を保証責任広島信用購買販売利用組合に改称。
4 月		野幌尋常小学校・上仁井別尋常小学校開校。
4 月		広島尋常高等小学校、同音江別分教場、同高台尋常小学校を統合して、広島東 部尋常高等小学校を開校。
4 月		広島村章制定。
9 月		輪厚尋常高等小学校、下仁井別尋常小学校、島松特別教授場を統合して、広島 西部尋常高等小学校を開校。
11 年 2 月	1936	広島村歌制定。
3 月		広島村旗制定。
15 年 4 月	1940	広島市街に大火発生、市街地の大半を焼失。
16 年 3 月	1941	道道札幌夕張線の全線開通。
9 月		広島村森林組合設立。
18 年 8 月	1943	北海道鉄道株式会社の札幌線が国鉄に買収され、千歳線となる。
19 年 1 月	1944	保証責任広島信用購買販売利用組合解散。
1 月		広島村農業会設立。
21 年 12 月	1946	農地委員選挙10名選出。
22 年 1 月	1947	農地委員会事務局設置。
3 月		自作農創設特別措置法に基づき農地買収を行う。
4 月		初の村長公選、中下武雄村長となる。
4 月		国鉄（現 JR北海道）バス長沼～広島～札幌間開通。
4 月		新学制の公布により広島村立東部中学校、西部中学校を各小学校に併置。
5 月		西部中学校大曲分校設置。
23 年 4 月	1948	広島村農業協同組合設立。
5 月		輪厚に役場西部出張所開設。
7 月		中央バス 札幌～千歳間（輪厚経由）開通。
11 月		農地調整委員選挙。
24 年 2 月	1949	第1回成人祭（式）。
3 月		広島村商工連合会設立。
25 年 8 月	1950	301mmの降雨により河川が氾濫、開村以来の大災害となる。
12 月	1950	東部中学校校舎落成。
26 年 9 月	1951	東部中学校西の里分校開校。
27 年 7 月	1952	富ヶ岡学園火災、210坪焼失。
10 月		教育委員選挙。
11 月		教育委員会発足。
29 年 1 月	1954	高松宮殿下、富ヶ岡学園を訪問。
5 月		中央バス 札幌～大曲～広島間開通。
30 年 4 月	1955	「新広島新聞」改め「広報新広島」とし、役場で発行。
6 月		千歳線ディーゼルカー運行開始。

年 号	西 曆	記 事
昭和 30 年 7 月	1955	役場西部出張所庁舎落成。
7 月		広島村社会福祉協議会設立。
9 月		初の公営住宅（10戸）完成。
12 月		広島村婦人団体協議会結成。
31 年 6 月	1956	大曲公民館落成。
10 月	1956	40年来の冷害、冷害対策本部を役場に設置。
32 年 9 月	1957	農家691戸に有線放送施設工事着工。
12 月		有線放送開始。
33 年 3 月	1958	広島村農業協同組合創立10周年記念式挙行。
3 月		西の里水道利用組合を結成し、給水を開始。
4 月		国民健康保険事業開始。
8 月		輪厚にゴルフ場完成。
10 月		忠霊塔を広島神社境内に建立。
34 年 9 月	1959	豪雨により水害となる。（被害額4千万円）
11 月		西公民館落成。
35 年 4 月	1960	大曲中学校および西の里中学校が独立校となる。
4 月		東部小学校富ヶ岡分校に心身障害児特殊学級開設。
9 月		「広島村史」発行。
37 年 7 月	1962	通産省工場適地指定の認可。
38 年 6 月	1963	広島村簡易水道事業認可。
7 月		北海道リハビリー開設。
11 月		東部地区の簡易水道施設完成。
39 年 4 月	1964	北海道央新産業都市建設区域指定。
5 月		開村80周年記念式挙行。
5 月		長沼町外3町村環境衛生組合設置認可。
7 月		東部住民プール完成。
9 月		大曲工業団地に企業立地始まる。
40 年 4 月	1965	北海道産業専門学校開校。
4 月		北海道立白樺養護学校開校。（現 北海道白樺高等養護学校）
6 月		東部小学校と広島市段原小学校との姉妹校縁組。
41 年 3 月	1966	広島村都市計画区域指定認可。
4 月		北海道産業短期大学開校。
8 月		長沼町外3町村環境衛生組合し尿処理場操業開始。
9 月		国鉄千歳線 北広島～恵庭間複線化工事完成。
42 年 1 月	1967	広島村工業開発条例制定。
43 年 9 月	1968	町制施行。（9月1日）
9 月		役場庁舎新築落成。
10 月		松原太郎氏、名誉町民となる。
11 月		道営第3住宅団地が広島町に指定決定。（道議会）
44 年 6 月	1969	電話自動ダイヤル化。
7 月		西部住民プール完成。
10 月		広島町章および町旗制定。
11 月		町立大曲保育園落成。
45 年 4 月	1970	主要道道札幌夕張線が一般国道274号に昇格。
6 月		広島町総合開発計画策定。

年 号	西 曆	記 事
昭和 45 年 6 月	1970	道営北広島団地起工式挙行。
7 月		市街化区域および市街化調整区域告示。
8 月		広島町水道事業および広島町公共下水道事業認可。
12 月		石狩大曲簡易郵便局開局。
46 年 3 月	1971	仁別小学校を大曲小学校に統合。
4 月		富ヶ岡の小・中学校分校を町立共栄小・中学校として独立し、共栄に移転。
4 月		4月30日現在の住民基本台帳人口が1万人を超える。(10,097人)
7 月		大曲に警察官派出所開設。
12 月		道央自動車道(千歳～北広島間)開通。
47 年 2 月	1972	下水終末処理場運転開始。
3 月		「広島町の歩み」発行
12 月		北広島団地に広島広葉郵便局開局。
48 年 1 月	1973	広葉小学校開校。
9 月		国鉄千歳線(北広島～苗穂間)複線化。
10 月		霊園起工式挙行。
12 月		西の里簡易郵便局開局。
12 月		広島第1工業団地全区画分譲完了。
49 年 1 月	1974	広島町学校給食センター開設。
4 月		私立広島大谷幼稚園開園。
4 月		広葉中学校開校。
4 月		広島町消防本部開設。
5 月		広島電話交換局完成。(8,000回線収容)
6 月		広島町中央公民館開館。
7 月		まちの花「つつじ」及びまちの木「かえで」を決定。
8 月		町の歌、町民音頭決定。
9 月		広島葬斎場完成。
11 月		11月30日現在の住民基本台帳人口が2万人を超える。(20,037人)
12 月		北広島橋上駅完成。
12 月		「駅前地区」の一部を「稲穂町」に名称変更。
50 年 1 月	1975	消防本部庁舎完成。
1 月		農民研修センター開館。
4 月		町立すみれ保育園開園。
4 月		若葉小学校開校。
4 月		私立広島わかば幼稚園開園。
8 月		台風6号による被災。(被害額3億3千万円)
9 月		稲穂公園(都市計画決定第1号公園)完成。
9 月		広島町都市開発基本計画策定。
10 月		国勢調査で増加率(128.4%)で全国2位、全道1位となる。
11 月		電話の普及加入地域ほぼ全町となる。
51 年 2 月	1976	青葉町に急速濾過式浄水場完成。
4 月		役場大曲出張所開設。
4 月		北海道産業短期大学が道都短期大学と改称。
4 月		高台小学校開校。
5 月		西の里団地に私立西の里保育園開園。
9 月		冷害に見舞われる。(被害額4億円)

年 号	西 曆	記 事
昭和 51 年 10 月	1976	札幌方面札幌東警察署北広島警察官派出所開所。（北広島団地）
11 月		北の里に長沼町外 3 町環境衛生組合（現 道央地区環境衛生組合）のし尿処理施設（酸化方式）を増設し、同組合事務所を同所に移転。
12 月		西の里公民館開館。
12 月		役場西の里出張所開設。
52 年 4 月	1977	緑陽小学校開校。
7 月		急病医療制度発足。（在宅テレホン方式）
10 月		広島郵便局を北広島郵便局に改称し、栄町に移転、広島郵便局の跡地に広島元町郵便局を開局。
53 年 1 月	1978	「字富ヶ岡」の一部を「新富町」に名称変更。
4 月		町立すずらん保育園開園。
4 月		緑陽中学校開校。
4 月		北海道立北広島高等学校開校。
4 月		私立広島幼稚園開園。
4 月		私立広島かおり幼稚園開園。
4 月		北海道歯科技工士養成所開所。
5 月		5 月 31 日現在の住民基本台帳人口が 3 万人を超える。（30,080 人）
10 月		北海道歯科技工士養成所が北海道歯科技術専門学校となる。
12 月		北海道豊平警察署が開設され、白石署に替わり町を管轄。
54 年 3 月	1979	広島局、輪厚局の市街局番を廃止し、町内の局番を一本化した。
4 月		町立共栄小・中学校を道に移管、札幌養護学校の分校となる。
8 月		第 1 回「ふるさと祭り」開催。
12 月		大曲会館完成。
55 年 1 月	1980	石狩東部広域水道企業団（漁川ダム）から受水開始。
5 月		クリーンセンター完成。（破碎埋立方式）
7 月		大曲住民プール完成。
7 月		広島県東広島市と姉妹都市締結。
9 月		北広島団地住民センター完成、同センター内に役場連絡所開設。
10 月		国鉄千歳線電化。
12 月		輪厚保育園完成。
12 月		消防署大曲出張所開所。
56 年 1 月	1981	西の里会館完成。
4 月		夜間急病センター診療開始。
4 月		新長期総合計画策定。
5 月		北広島ふるさと太鼓誕生。
6 月		広島レクリエーションの森使用開始。
7 月		国道 274 号共栄バイパス開通。
8 月		台風 15 号被災。（死者 1 名 被害額 23 億 5 千万円）
10 月		福祉センター開館。
11 月		広島第 2 工業団地完成。
12 月		広島里見郵便局開局。
57 年 2 月	1982	輪厚児童体育館完成。
4 月		町立稲穂保育園開園。
8 月		西の里町民プール完成。
10 月		大曲警察官駐在所開所。
58 年 1 月	1983	ひろしま 100 年シンボルマーク、キャッチフレーズ決定。

年 号	西 曆	記 事
昭和 58 年 4 月	1983	大曲地区下水処理開始。
4 月		北海道立北広島西高等学校開校。
4 月		私立大曲大谷幼稚園開園。
8 月		緑葉公園プール完成。
59 年 1 月	1984	ひろしま100年賛歌「ひろしまわが愛」レコード完成。
2 月		大曲ファミリー体育館完成。
4 月		広島町民憲章制定。
7 月		旧島松駅通所が国の文化財に指定される。
7 月		100年記念誌発行。
8 月		ひろしま100年記念式典挙行。
60 年 2 月	1985	西の里ファミリー体育館完成。
6 月		緑葉公園野球場完成。
7 月		7月31日現在の住民基本台帳人口が4万人を超える。(40,087人)
61 年 1 月	1986	石狩教育研修センター落成。
2 月		第1回「ふれあい雪まつり」開催。
2 月		名誉町民 松原太郎氏逝去。(89歳)
3 月		町と広島町農業協同組合による松原太郎氏の合同葬を行う。
4 月		総合体育館完成。
8 月		姉妹都市東広島市に子ども大使の派遣を実施。
10 月		女子バレーボール国際試合開催。(全日本対ブラジル戦)
10 月		国道36号島松沢バイパス開通。
10 月		市街局番「011」化。
11 月		西の里警察官駐在所開所。
62 年 4 月	1987	札幌日本大学高等学校開校。
6 月		シルバー人材センター開設。
7 月		白樺プール完成。
7 月		役場西の里出張所移転開設。
8 月		全国高校空手道選手権大会開催。
63 年 1 月	1988	「字共栄」の一部を「共栄町」に名称変更。
2 月		「字広島」、「字中の沢」、「字富ヶ岡」の一部を「朝日町」と「稲穂町」に名称変更。
4 月		平和都市宣言。
9 月		広島町緑の基本計画策定。
12 月		大曲新工業団地分譲開始。
12 月		移動図書館「あおぞら号」運行開始。
平成 元 年 2 月	1989	「字広島」の一部を「美沢」に名称変更。
3 月		防犯都市宣言。
9 月		「はまなす国体」空手道競技会開催。
2 年 4 月	1990	東部中学校移転、跡地に北の台小学校開校。
4 月		広島東記念館開館。
9 月		広島町2000年基本構想策定。
9 月		「字西の里」の一部を「西の里東」と「西の里北」に名称変更。
10 月		「旧島松駅通所」が7年におよぶ保存修復工事を終え、公開される。
10 月		「ふるさと創生資金」1億円を活用し、人材育成事業の初イベント「青少年問題シンポジウム」を開催。
10 月		「字輪厚」の一部を「希望ヶ丘」に名称変更。

年 号	西 曆	記 事
平成 2 年 12 月	1990	広島町第 3 次長期総合計画策定。
12 月		役場大曲出張所移転開設。
3 年 4 月	1991	輪厚地区下水処理開始。
9 月		青年団体連絡協議会による第 1 回「はんかく祭」開催。
9 月		「字共栄」の一部を「東共栄」に名称変更。
4 年 4 月	1992	大曲東小学校開校。
7 月		住民基本台帳人口が 5 万人を越える。(50,012人 7月7日)
9 月		「字大曲」の一部を「大曲柏葉」に名称変更。
5 年 2 月	1993	大曲第 3 工業団地の予約分譲開始。
4 月		西の里に私立札幌自由の森幼稚園開園。
9 月		「字大曲」の一部を「大曲南ヶ丘」に名称変更。
12 月		消防署西の里出張所開所。
6 年 7 月	1994	市制準備、市民アンケートを実施。
9 月		「字大曲」の一部を「大曲中央」、「大曲工業団地」に名称変更。
7 年 4 月	1995	西の里地区下水処理開始。
9 月		「字大曲」の一部を「大曲末広」に名称変更。
10 月		西郵便局開局。
10 月		国勢調査(市制施行の基本人口)人口が 5 万人を超える。(53,537人)
11 月		駅舎移転開設。
8 年 2 月	1996	大曲ふれあいプラザ落成。
4 月		道都大美術学部開設。
8 月		閉町式を挙行。(8月31日)
9 月		市制施行、開市式を挙行。(9月1日)
9 月		「字大曲」の一部を「大曲光」、「大曲緑ヶ丘」に名称変更。
9 月		「字広島」の一部を「中央」に名称変更するとともに字名を廃止した。
9 年 2 月	1997	札幌広域圏組合設立。
6 月		第 35 回北海道障害者スポーツ大会開催。
7 月		自然の森キャンプ場(島松)開設。
9 月		「大曲」の一部を「大曲並木」に名称変更。
11 月		大曲通開通。
11 月		私立大地太陽幼稚園開園。
10 年 3 月	1998	中央 6 郵便局開局。
6 月		きたひろサンパーク開設。
9 月		「輪厚」の一部を「輪厚中央」に名称変更。
10 月		芸術文化ホール・市立図書館開設。
12 月		北広島駅前交番開所。
11 年 3 月	1999	「輪厚」の一部を「輪厚元町」に名称変更。
2 月		シルバー活動センター落成。
4 月		「透明ゴミ袋」の使用が義務化される。
9 月		フレンドリーセンター開設。
10 月		情報公開制度スタート。
11 月		聖芳園新築移転開設。
12 月		自転車利用環境整備モデル都市指定。
12 年 3 月	2000	区画整理事業の完成により残っていた「広島」を「中央」に名称変更し「広島」の町名を廃止した。
3 月		エルフィンパーク・東西連絡橋落成。

年 号	西 曆	記 事
平成 12 年 4 月	2000	環境基本条例制定。
9 月		北広島市総合計画策定。
12 月		ミレニアム・カウントダウン事業を実施。
13 年 1 月	2001	北広島交番開所。
3 月		道道札幌北広島自転車道線一部利用開始。
4 月		札幌厚別署開所。
6 月		自衛隊機銃射事故。
12 月		羊ヶ丘通（道道大曲工業団地美しが丘線）開通。
14 年 3 月	2002	消防増築庁舎完成。
3 月		「共栄」及び「東共栄」の一部を「美咲き野」に名称変更。
4 月		子どもサポートセンター設置。
6 月		中学校給食の全校実施。
11 月		「西の里」の一部を「虹ヶ丘」に名称変更。
15 年 2 月	2003	輪厚児童センター開設。
3 月		消防緊急通信指令装置の運用開始。
7 月		住民基本台帳人口が6万人を越える。（60,077人 7月15日）
8 月		個人情報保護条例、同施行規則の施行。
11 月		高規格救急車の導入。
11 月		寒地稲作成功130年記念事業。
16 年 1 月	2004	西部中学校大規模改造工事。
10 月		札幌恵庭自転車道線 札幌北広島間（エルフィンロード）開通。
17 年 4 月	2005	道都大学社会福祉学部、本市に移転。
18 年 1 月	2006	西部小学校改築移転。
2 月		市図書室西部小分室開設。
4 月		ふれあい学習センター（愛称：夢プラザ）開設。
		大曲児童センター・地区図書館を併設。
5 月		エルフィンロードに自転車の駅開設。
8 月		北広島地域職業相談室（愛称：ジョブガイド北広島）開設。
9 月		市制10周年記念式典。（9月2日）
19 年 2 月	2007	「北広島市史」発行。
4 月		防災センター開設。
5 月		「西の里」の一部を「西の里北」、「西の里東」、「西の里南」に名称変更。「中の沢」の一部を「美沢」に名称変更。
8 月		ファミリーサポートセンター開設。
		北広島市ホームページへの広告掲載。
11 月		きたひろしま地域SNSの開設。
20 年 3 月	2008	北広島市耐震改修促進計画策定。
4 月		平和市長会議に加盟。
		ふるさと納税制度開始。
		大曲保育園の民営化。
7 月		北広島市統計協議会 設立60周年事業「記念式典」開催。
10 月		家庭ごみの有料化開始。
		「広報きたひろしま」の編集業務を、公益活動団体に委託開始（市民参加・協働型）。
21 年 4 月	2009	定額給付金、子育て応援特別手当の支給。
		虹ヶ丘会館開設。
6 月		輪厚スマートインターチェンジ（ETC専用インターチェンジ）開通。
9 月		「ねんりんピック北海道・札幌2009」開催。
11 月		北広島市プレミアム付商品券発行。
22 年 2 月		「大曲」の一部を「大曲幸町」に名称変更。